



長老乗せ豊年願う

国頭・奥 伝統の「ビーンクイイ」

【国頭】国頭村奥の伝統 集落長老の男性をウヒ（お行事「シヌグ」の一環で、「け」に乗せて若者らで担

8月27日、国頭村奥

ぎ、集落内を練り歩いて無病息災、豊年を祈願する同集落独特の行事「ビーンクイイ」が27日、行われた。区民や郷友会など多数が参加した。

奥のシヌグは25日から3日間あり、ビーンクイイは最終日の行事。今回おけに乗ったのは、現役の農家としてカーブチーなどのミカン類を生産しているという崎原栄秀さん(86)。

女性のみに踊るウシデークの終了後、空手や棒術の演武を先頭に、太鼓を打ち鳴らし「ビーンクイイ」「エイヤサー」の掛け声を繰り返しながら、アシャギマーと呼ばれる広場を目指した。参加者も列に続き、全員で区の発展を祈った。

崎原さんは「とても良かった。奥の発展がかなえられるといい。(自分も)これから長寿になれるように頑張りたい」と願った。



(2011年8月28日付 26面)

☆「無病息災」「豊年万作」の読み方と意味を調べましょう。

☆ふきだしにせりふを入れましょう。

年 組 名 前